重点改革項目 I 時代の変化に即応した行政経営品質の向上

具体的な取組項目(小項目) 1 新潟市総合計画(にいがた未来ビジョン)第1次実施計画など主要施策の戦略的実施 第1次実施計画の戦略的実施 現状と課題 (これまでの取組み) *** ** ** ** ** ** ** ** **		取組項目(中項目)	1 政策課題の高	度化への対応			N	l o.	1
数本実施項目名称(細項目) 現状と課題 (これまでの取組み) 《計画期間の目標≫ 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」 を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 ・計画の取組項目実現に向け「選択と集中」すべき項目を明らかにし、庁内における情報共有を図ることにより事業の重点化を図る。 ・おらに指標等によりPDCオイクルを機能させ、適宜計画のローリング作業を行いブラッシュアップを図ることで実効性を高めていく。 取組の内容 取組の内容 現状 (平成26年度) 取組工程 (具体的な内容) 取組工程 (具体的な内容) 取組工程 (具体的な内容)	具体	具体的な取組項目(小項目)						当課	政策調整課
現状と課題 (これまでの取組み) 事業の目標・目的 (考えられる効果) 事業の目標・目的 (考えられる効果) 事業の内容 取組の内容 ・計画の販組項目実現に向け「選択と集中」 を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 ・計画の販組項目実現に向け「選択と集中」すべき項目を明らかにし、庁内における情報共有を回じて、限られた資源の「選択と集中」を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 ・ 計画の販組項目実現に向け「選択と集中」すべき項目を明らかにし、庁内における情報共有を図ることにより事業の重点化を図る。・ さらに指標等によりPDCAサイクルを機能させ、適宜計画のローリング作業を行いブラッシュアップを図ることで実効性を高めていく。 現状 (平成26年度) 現状 (平成26年度) 東雄 下成28年度を目標年度とした第1 次実施計画の策定 施施 変担と集中による・実施計画に基づ・計画の戦略的実・第1次実施計画に基づ・東値・平成30年度を目標年度とした第1 次実施計画の策略的実施 東雄 「果体的な内容) 「現状と集中による・実施計画に基づ・計画の戦略的実施度を表別で表現ので表現ので表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	改革	改革実施項目名称(細項目) 第1次実施計画の戦略的実施							<i>3.</i> 1711, 4.22 171.
事業の目標・目的 (考えられる効果) 取組の内容 取出の内容 下成28年度 計画 東による計画の 東による 東による計画の 東による 東に	(
取組の内容 より事業の重点化を図る。 ・さらに指標等によりPDCAサイクルを機能させ、適宜計画のローリング作業を行いブラッシュアップを図ることで実効性を高めていく。 改革 実施 施概要 現状 (平成26年度) 平成27年度 平成28年度 (平成26年度) 中間目標/29年度以降 事成28年度を目標年度とした第1次実施計画の策定 選択と集中による。 計画の戦略的実施 ・実施計画の戦略的実施 ・平成30年度を目標年次とする第2次実施計画の策定 ・第2次実施計画の策能的実施 地略的実施 ・第2次実施計画の策定		目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 事業の目標・目的 (考えられる効果) 《事業の最終目標》 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中)「選択と集中」	
では (平成26年度) 計画 実績 計画 実績 29年度以降 では (平成28年度を目標年度とした第1 次実施計画の策定 では (具体的な内容) 下間も保証 29年度以降 では (具体的な内容) では (平成26年度) 選択と集中による計画の戦略的実施 では (具体的な内容) では (単位) (本の戦略的実施 では (人の戦略的実施 では (人の戦略的) では (人の戦略		より事業の重点化を図る。 取組の内容 ・さらに指標等によりPDCAサイクルを機能させ、適宜計画のローリング作業を行いブラッシュアップを図						は有を図ることに	
では、		収組の内谷			を機能させ、適宜	計画のローリング	作業を行いブラ	ラッシ	/ュアップを図る
では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		収組の内谷	ことで実効性を高	がていく。				ラッシ	
指標		取組の内谷	ことで実効性を高 現状	がていく。 平成2	27年度	平成2	28年度	ラッシ 	中間目標/
標	Low	取組工程	ことで実効性を高 現状 (平成26年度) 平成28年度を目標年度とした第1 次実施計画の策	がていく。 平成2 計画 選択と集中による 計画の戦略的実	27年度 実績 ・実施計画に基づ く取組みの戦略的	平成2 計画 ・計画の戦略的実施 ・平成30年度を目標年次とする第2 次実施計画の策	28年度 実績 ・第1次実施計 に基づく取組ご 推進 ・第2次実施計 (H29・30年度)	†画 みの †画	中間目標/ 29年度以降 引き続き、選択と 集中による計画の
	概要	取組工程	ことで実効性を高 現状 (平成26年度) 平成28年度を目標年度とした第1 次実施計画の策	がていく。 平成2 計画 選択と集中による 計画の戦略的実	27年度 実績 ・実施計画に基づ く取組みの戦略的	平成2 計画 ・計画の戦略的実施 ・平成30年度を目標年次とする第2 次実施計画の策	28年度 実績 ・第1次実施計 に基づく取組ご 推進 ・第2次実施計 (H29・30年度)	†画 みの †画	中間目標/ 29年度以降 引き続き、選択と 集中による計画の
	概要	取組工程	ことで実効性を高 現状 (平成26年度) 平成28年度を目標年度とした第1 次実施計画の策	がていく。 平成2 計画 選択と集中による 計画の戦略的実	27年度 実績 ・実施計画に基づ く取組みの戦略的	平成2 計画 ・計画の戦略的実施 ・平成30年度を目標年次とする第2 次実施計画の策	28年度 実績 ・第1次実施計 に基づく取組ご 推進 ・第2次実施計 (H29・30年度)	†画 みの †画	中間目標/ 29年度以降 引き続き、選択と 集中による計画の

進	(各年度10月)	に実施)	平成27年度		平成28年度	
歩管理	取組の状況	上半期 (4~9月)	・進行管理の実施	予定通 り 進捗	進行管理の実施進捗状況を議会報告	予定通 り 進捗

※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。

(年度終了後に実施)		(年度終了後に実施)	平成27年度		平成28年度		
年度評!	度評	取組工程、指標に対する評価	進行管理を行うととも に、次年度の計画推進事 業を決定し、各取組みの 着実な推進を図った。	В	進行管理を行い、次年度 の計画推進事業を決定す るなど着実な推進を図る とともに、第2次実施計画 の策定につなげた。	В	
	価		限られた資源の「選択と集中 図りながら、計画の着実な推定 図っていく必要がある。	進を	重点的に取り組む分野の選限られた経営資源の集中を がら、計画を着実に推進し 必要がある。	図りな	

言		中間評価		平成29年度以降
回其間の	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	第1次実施計画の進行管理を行うとともに、次年度の計画推 進事業を決定するなど、着実な推進を図った。さらに、第1次 実施計画の進捗状況を踏まえ、平成29年度からの第2次実施計 画を策定した。	В	より重点的に 取り組む分野の 選択と、限られ た経営資源の集
中間評価	課題、今後の方針、改善事項など	総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現する 重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図り ら、計画を着実に推進していく必要がある。	こため、	中を図りなが ら、計画を着実 に推進してい く。

重点改革項目 I 時代の変化に即応した行政経営品質の向上

	取組項目(中項目)	1 政策課題の高	 度化への対応				No.	1
具体	具体的な取組項目(小項目) 1 新潟市総合計画(にいがた未来ビジョン)第1次実施計画など主要施策の戦略的実施							政策調整課
改革	改革実施項目名称(細項目) 第1次実施計画の戦略的実施							SON WALLEN
(新たな総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現するため、平成28年度を目標年度とした2カ年の第 1次実施計画を策定、選択と集中を図りながら「安心政令市にいがた」実現に向けた各施策を重点実施する。							
	事業の目標・目的 (考えられる効果) 《計画期間の目標》 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」 を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。 《事業の最終目標》 目指す都市像、取組内容、工程など、庁内外における情報共有を通じて、限られた資源の「選択と集中」 を図り、計画で掲げる指標の達成を目指す。						つ「選択と集中」	
	取組の内容	より事業の重点化	を図る。 よりPDCAサイクル	と集中」すべき項 を機能させ、適宜	•			
		現状		9年度		0年度		最終目標/
改革実施概要	取組工程 (具体的な内容)	(平成26年度) 平成28年度を目標年度とした第1次実施計画の策定	計画 選択と集中による 計画の戦略的実 施	実績 ・実施計画に基づく取組みの戦略的実施	計画の戦略的実施 ・2020年度を目標年次とする第3次実施計画の策定	実 ・第2次実 に基づく 推進 ・第3次実 (2019・20 の策定	施計画 取組みの 施計画	31年度以降 引き続き、選択と 集中による計画の 戦略的実施を行う
+15								
指標								

進	(各年度10月)	に実施)	平成29年度		平成30年度	
歩管理	取組の状況	上半期 (4~9月)	・進行管理の実施・進捗状況を議会報告	予定通 り 進捗	進行管理の実施進捗状況を議会報告	予定通 り 進捗

	(年度終了後に実施)	平成29年度		平成30年度	
年度評価	取組工程、指標に対する評価	進行管理を行うととも に、次年度の計画推進事 業を決定し、各取組みの 着実な推進を図った。	В	進行管理を行い、次年度 の計画推進事業を決定す るなど着実な推進を図る とともに第3次実施計画の 策定につなげた。	В
価	課題、今後の方針、改善事項など	重点的に取り組む分野の選限られた経営資源の集中を がら、計画を着実に推進し 必要がある。	図りな ていく	重点的に取り組む分野の選限られた経営資源の集中をがら、計画を着実に推進し必要がある。	図りな

_		計画期間の評価	平成31年度以降
言回其間	取組工程、指標に対する評価 (指標の適正性等)	実施計画の進行管理を行うとともに、当該年度の事業内容や 次年度の方向性を踏まえ、計画推進事業を決定するなど、着実 な推進を図った。さらに、平成29年度からの第2次実施計画及 び平成31年度からの第3次実施計画を策定した。	限られた経営 資源のなかで、 重点的に取り組む分野の選択と
の評価	現	総合計画「にいがた未来ビジョン」で目指す将来像を実現するため、 重点的に取り組む分野の選択と、限られた経営資源の集中を図りなが ら、計画を着実に推進していく必要がある。	- 集中を図りなが ら、計画を着実 に推進してい く。